

# 令和元年度 第1回磐田市健康づくり推進協議会次第

令和元年7月18日（木）午後1時30分～

<sup>あい</sup>i プラザ（磐田市総合健康福祉会館）2階 生活訓練室

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 自己紹介
4. 健康福祉部長挨拶
5. 会長・副会長選出
6. 会長挨拶
7. 議事・協議
  - (1) 健幸いわた21
    - ①周知について
    - ②平成30年度進捗状況について
    - ③重点課題解決に向けた令和元年度の取り組みについて
  - (2) 意見交換
8. その他 連絡事項
  - 第2回日程 令和2年2月頃
9. 閉 会

# 平成30年度の健幸いわた21進捗状況

評価／ 目標値達成◎ 中間評価より数値改善○ 中間評価より数値悪化▲

重点課題	健幸いわた21目標(一部抜粋)	中間評価(H28)	目標(R5)	進捗(H29)	進捗(H30)	評価	
①	第2号被保険者の要介護認定率の増加の抑制	0.33%	<b>0.38%</b>	0.30%	0.32%	◎	
	お達者な人の割合の増加	(H27) 92.2%	<b>92.7%</b>	92.3%	92.6%	○	
②	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	(H27) 男79.6% 女40.1%	<b>男72.9% 女40.1%</b>	男64.1% 女52.4%	R1.秋以降発表		
	がん検診 受診率の増加(40～69歳) 子宮頸がん検診は20～69歳	(H27) 胃26.1% 大腸49% 肺49.9% 子宮50.2% 乳60.1%	<b>胃30% 大腸50% 肺50% 子宮51% 乳61%</b>	(H28) 胃31.9% 大腸43.8% 肺47.7% 子宮43.3% 乳56.2%	R1.秋以降発表		
	高血圧Ⅱ度(160/100mmHg)の者の割合の減少	3.1%	<b>2.8%</b>	4.1%	3.4%	▲	
	LDLコレステロール180mg/dl以上の者の割合の減少	5.0%	<b>4.9%</b>	4.9%	4.3%	○	
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(法定報告)	24.3%	<b>22.4%</b>	25.6%	R1.秋以降発表		
	特定健診受診率の増加(法定報告)	45.8%	<b>60.0%</b>	46.4%	R1.秋以降発表		
	特定保健指導実施率の増加(法定報告)	57.0%	<b>60.0%</b>	88.0%	R1.秋以降発表		
	HbA1c(NGSP値)8.4%以上の者の割合の減少	0.64%	<b>0.62%</b>	0.71%	0.59%	○	
新規透析患者のうち原因疾患が糖尿病性腎症の者の減少	23人	<b>19人</b>	15人	R1.秋以降発表			
③	楽しくて育児ができる保護者の割合の増加(3歳児健診)	97.5%	<b>100%に近づける</b>	97.1%	98.1%	○	
	ゲートキーパー養成研修累計参加者数の増加	226人	<b>700人以上</b>	297人	376人	○	
④	21時前に寝る子どもの割合の増加(3歳児健診)	54.7%	<b>60%</b>	56.1%	50.9%	▲	
	朝食をとっている人の割合 (参考値)	幼稚園・保育園児	96.3%	<b>100%に近づける</b>	98.0%	97.6%	○
		小学5年生	94.7%		98.4%	98.4%	○
		中学2年生	92.8%		98.4%	97.4%	○
		高校2年生	93.7%		96.9%	96.6%	○
		成人	87.1%		<b>95.5%</b>	95.5%	95.3%
日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合の増加	男48.3%	<b>男52%</b>	男49.5%	男49.0%	○		
	女48%	<b>女50%</b>	女45.1%	女45.1%	▲		

# 健幸いわた21の重点課題解決に向けた令和元年度の取り組み

R1.7.18健康づくり推進協議会資料

重点課題① 健康寿命の延伸	
いきいき百歳体操 (健幸いわた21 P10参照)	体操実施団体に対し、低栄養の予防(栄養士)、口腔ケア(歯科衛生士)について講話を実施します。また、より効果的に体操を実施できるように、今年度から理学療法士による介入を実施します。(H31年3月末時点 91団体 約1,500人参加)
出張!まちの保健室 (参考資料①) (健幸いわた21 P11参照)	6月(食育月間)と9月(健康増進普及月間)に各地域の企業や団体、公共施設へ出向き、出張型まちの保健室を実施します。(H30年度まちの保健室実績 161回 5,205人参加)
健幸アンバサダー (参考資料②)	養成講座を企画します。養成した健康アンバサダーを対象に、アンバサダー通信の配信とフォローアップ講座を行います。(H31年3月末時点 養成 543人)
重点課題② 生活習慣病の重症化予防	
特定健診 (健幸いわた21P81~82参照)	特定健診受診率向上のため、未受診者に対して、夏に受診勧奨のハガキを送付しています。また、2月に追加健診を設けることによって受診を逃した方への受診の機会を設けています。その他、土日健診、レディースデイを設け、受診者の利便性に配慮した取り組みを実施しています。
がん検診 (健幸いわた21P12参照)	がん検診受診率向上のため、未申込者への勧奨通知の拡大、40歳への再勧奨通知を実施します。また、がん検診実施日の拡大、予約方法選択肢の拡大を実施します。精密検査未受診者へは受診勧奨を実施します。
糖尿病重症化予防 (健幸いわた21P85~87参照)	磐田市の課題である糖尿病の重症化予防を進めるため、専門医・かかりつけ医との連携をさらに進めていきます。関係者同士、情報交換をしながら、課題の共有をしていきます。
重点課題③ こころの健康	
自殺予防啓発 (健幸いわた21P17~19参照)	まちの保健室、ゲートキーパー研修などの場を通して、リーフレット等の配布を行い、自殺予防に関する正しい知識の普及と啓発を継続して行います。
若者相談支援 (参考資料③)	中学校卒業以降の若者世代とその家族を中心に、ひきこもり状態にある方や人間関係等の問題など自殺につながるような悩みを抱える若者等に対して、専門の相談員を配置し、対面及び電話、必要に応じて家庭訪問を行う等の支援を行います。
重点課題④ 生活習慣の改善	
ライフステージごとの食育啓発	各世代ごとの成長に合わせた食育を推進し、健康イベントや広報いわたへのレシピ掲載、食育講座などを通して、生活習慣改善のための啓発を行っていきます。また、食事についてのアンケートを実施し、ライフステージごとの朝食摂取状況や食事内容の現状を把握し、今後の食育事業へ活用していきます。
いわた子育てアプリ (参考資料④)	子育て世代への知識の普及や情報提供のため、アプリを活用した育児や健康情報の発信を定期的に行っていきます。
たのしっぺい♪健幸チャレンジ (参考資料⑤)	個人の主体的な健康づくりを応援する事業としてH29年度より実施しています。今年度は本事業の認知度を高め、参加数を増やすため、健康づくりに約50回取り組んだ方を対象として、磐田市独自の抽選会を年度末に実施する予定です。